

事 業 評 価 書

補助事業名	高齢者ワクチン接種助成事業				
補助事業者名	名護市長				
実施場所	名護市委託実施医療機関				
補助事業の成果の目標	<p>高齢者肺炎球菌ワクチン及び带状疱疹ワクチンは高齢者の自己負担額が他の予防接種に比べ高いため、本市の議会でも自己負担額の軽減が度々議題となっていた。そのため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を利用し、高齢者の死因で高い割合を占める肺炎を予防する高齢者肺炎球菌ワクチンにおいては、自己負担額を無料に、带状疱疹ワクチンについては乾燥弱毒生水痘ワクチンは令和7年度自己負担額3,000円で実施していた金額を2,000円に、乾燥組換え带状疱疹ワクチンは1回につき自己負担額7,000円で実施し実質自己負担額14,000円だった金額を1回5,000円に軽減することで接種率30%を目標に、感染症の予防及び流行を抑え、高齢者が住みよいまちづくりを推進したい。</p>				
補助事業の内容	高齢者ワクチンの予防接種費用の助成				
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和6年度から令和10年度まで 基金の処分:令和6年度から令和11年度まで				
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	計	
	基金造成額	交付金額	7,500,000円	30,000,000円	37,500,000円
		市町村費等	0円	0円	0円
		運用益	1,500円	6,050円	7,550円
		計	7,501,500円	30,006,050円	37,507,550円
	基金処分類		843,517円	1,761,806円	2,605,323円
基金残額		6,657,983円	34,902,227円	34,902,227円	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 ・高齢者ワクチン補助事業において、個人負担が無料となる措置の開始直前平成30年度接種率32.1%から令和3年度は36.1%と上昇率としては4%であったが、令和4年度は33.9%と接種上昇率は1.8%にとどまった。令和6年度は14%と接種率は低い結果となったが、令和7年度は26%となり前年度より大きく増加した。前年度に引き続き、接種率を向上させるために、勸奨ハガキの送付や、広報誌等でお知らせを行った。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ・市ホームページに本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施される旨を掲載し、市民全体に周知を行った。 ・市民のひろば(市広報)等で接種期限等を周知、対象者(転入者含む)への通知文や未受診者への勸奨はがきでは無料で実施することや接種間隔の注意喚起を行いながら接種勸奨を行った。 ・医療機関へは予防接種説明会を通し、高齢者肺炎球菌ワクチン接種対象者や注意事項の周知説明を行った。又、未参加の医療機関へも資料を配布し周知した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	今後の接種率の維持向上を図るために、事業の周知についてはこれまでの内容を継続していくとともに、有効な周知方法があれば取り入れていく。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				